

## 音楽学部・人文学部・人間発達学部教員年次研究報告書

(2008年1月～12月)

本学教員の教育研究活動の一部を学内外に報告することを目的として、例年どおり「研究論集」に教員年次報告を掲載いたしております。大学の自己点検・自己評価に役立てることができれば幸いです。(掲載はアイウエオ順)

### 【共通教育センター】

江 草 浩 幸

《講演・学会発表等》

1. 「文字の字体や動きによる物語イメージの伝達」2008年3月 第41回知覚コロキウム(千葉大学)
2. 「上下逆さ絵の見え」2008年9月 日本心理学会第72回大会(北海道大学)
3. 「上下逆さ絵の見え(2)」2008年11月 関西心理学会第120回大会(奈良女子大学)

佐 野 正 彦

1. 「高卒労働市場の構造と雇用への移行」、乾彰夫編『大都市における若年者の教育・職業移行過程とキャリア形成に関するコーホート調査(第一回報告書)』日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(A)(一般)(代表:乾彰夫)

《主な活動》

1. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)(海外学術研究)代表個人、2008-11年(3年間)、「現代若者の労働市場への移行実態と移行・就労支援政策の効果に関する実証的研究」をロンドン大学、Institute of Education と共同研究として遂行中(1千280万)。
2. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(A)(一般)(代表:乾彰夫)、2007年-2011年(4年間)、研究分担者として、「大都市における若年者の教育・職業移行過程とキャリア形成に関するコーホート調査」を遂行中(4千200万円)。
3. 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)(一般)、(代表:上間陽

子)、2007年-2010年(3年間)、研究分担者として「沖縄における若年者の移行過程に関するコーホート調査」を遂行中(1千400万円)。

4. 社会保険労務士総合研究機構、研究補助金(研究代表:佐々木英一)、2008年-2009年(2年間)研究分担者として、「若年者雇用対策(青年期の雇用開発問題)に関する国際比較研究」を遂行中(100万円)。
5. 日本教育学会特別課題研究、「変容する青年期に関する総合的研究」2007-2009年(2年間)、を遂行中(300万円)。

#### 杉本 節子

1. 『看護師の医療情報ニーズと医学・看護図書館および患者図書室の役割と機能についての実態調査等報告書 2007』責任編集 2008.3 大阪市立大学創造都市研究科 115 p.
2. 「情報メディアデジタル化に伴う“教育教材”に関する著作権法の一考察」共著 2008.3『相愛大学研究論集』24 pp. 33-53.

#### 《おもな学外活動》

大阪市立図書館業務委託事業者選定委員会委員 2008.11.20~2009.4.1

大阪市立図書館業務委託事業者選定委員会委員 2007.11.26~2008.4.1

#### 《教育業績》

情報科学技術協会(INFOSTA)の「情報検索基礎能力試験」参加(2008.11.25)、本学の合格者7名

#### 千葉 真也

1. 書評 岩田隆著『宣長学論究』単著 平成20年12月1日 東京大学国語国文学会「国語と国文学」平成20年12月号(第85巻第12号) pp. 82-85

#### 《学会発表》

1. 「我々は宣長をどのように読んでいるか「物にゆく道」など」平成20年4月20日 鈴屋学会第25回大会(松阪市 本居宣長記念館)
2. 「古事記雑考」平成20年6月21日 主催:本居宣長記念館 松阪市松阪公民館

#### 《おもな学外活動》鈴屋学会常任委員

#### 本多 至成

1. 「東西文化の接点-那先比丘経-」「真理のことば」第3号(原始仏教研究

会編 2008 年 11 月)

《講演等》

1. 相愛学園創立 120 周年記念公開講座「シルクロードの菩薩経典」相愛大学  
2008 年 10 月 18 日
2. 相愛大学宗教部主催市民仏教講座「菩薩の道」相愛大学 2008 年 12 月 6  
日
3. 相愛大学定例礼拝 成道会記念講話「私の歩んだ道ー自力と他力ー」相愛大  
学 2008 年 12 月 4 日

《社会活動》

- \* 「クリーンアップ大阪」の美化活動に参加して南港一帯を清掃。
- \* ボランティア団体アジア協会の活動を支援する。
- \* ボーイスカウト活動に団委員、育成会会長として各種奉仕活動を補助する。

《その他》

- \* 監修 劇団「音芽」の創作劇「親鸞」(「親鸞」は 750 回遠忌法要のために相  
愛出身の団員たちが新たに創作した作品。)

山 下 昇

1. 論文「トウエインとフォークナーの南部」『マーク・トウエイン』第 7 号  
南雲堂 2008 年 4 月
2. 講演「アメリカのようになっていいのか日本!？」高槻教育文化センター総会  
2008 年 6 月 15 日
3. 共著『英語文学とフォークロア』南雲堂フェニックス 2008 年 12 月 (第 5  
章 アフリカ系アメリカ人女性のステロタイプ「アン・ペトリ『ストー  
ト』における「黒人女性と白人紳士」の性的神話)

《主な学会活動》日本ウィリアム・フォークナー協会副会長、評議員 日本アメ  
リカ文学会編集委員、日本アメリカ文学会関西支部評議員

【音楽学部】

赤 石 敏 夫

1. 『視唱ステップアップ』全音楽譜出版社 共著 (執筆責任 他 5 名) 2008  
年 2 月 15 日

《演奏会 (作品発表)》

1. 「溝上日出夫とその弟子達のコンサート」東京文化会館小ホール 2008 年 1

月 12 日 クラリネットとピアノのための音楽「プレス・アブソルート」  
(初演) Cl: 式部由紀 Pf: 坂野伊都子

2. 「新作歌曲の会第 10 回演奏会」東京文化会館小ホール 2008 年 7 月 21 日  
谷川俊太郎詩集「すこやかに おだやかに しなやかに」による 3 つの歌曲「影と海」「ことばのとおりに」「たゆまずに」(初演) Ms: 紙谷弘子  
Pf: 亀澤奈央
3. 「第 13 回 JFC アンデパンダン」東京オペラシティ・リサイタルホール  
2008 年 10 月 26 日 クラリネットとピアノのための音楽「プレス・アブソルート」(改訂初演) Cl: 式部由紀 Pf: 坂野伊都子

#### 石 村 真 紀

1. 兵庫ヒューマンケアカレッジ 音楽療法講座「専門講座」講師「即興技法の導入」2008 年 1 月 8 日・1 月 31 日・2 月 4 日 主催(財): ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 於兵庫県こころのケアセンター
2. 「ゆっくり生きる」関連企画によるワークショップと即興コンサート 2008 年 2 月 16 日 主催・場所: 芦屋市立美術博物館 Cl: 三宅博子
3. ラジオ関西「音楽療法の現場を追う～響け音、つなげ心～」2008 年 1 月 26 日(30 分)、「共鳴～音楽療法の現場を追う～」2008 年 3 月 31 日(30 分)、「共鳴～音楽療法の現場を追う～特別番組」2008 年 5 月 26 日(60 分)、製作協力・出演
4. 講演「事例から学ぶ～小児のケースを中心に～」2008 年 4 月 20 日 主催・滋賀県音楽療法研究所 滋賀県児童成人福祉施設協議会 於草津市立市民交流プラザ
5. ワークショップ講師「響きあいを求めて～臨床における即興のあり方についての考察～」2008 年 6 月 1 日 日本音楽療法学会・信越北陸支部第 6 回學術大会 於仁愛女子短期大学
6. 兵庫ヒューマンケアカレッジ音楽療法講座「専門講座」講師「事例学習児童期～成人期」2008 年 7 月 31 日・8 月 19 日・8 月 27 日、「即興技法の導入」2008 年 12 月 25 日 主催(財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 於兵庫県こころのケアセンター

#### 《主な学外活動》

1. 日本音楽療法学会評議員
2. 日本音楽療法学会近畿支部 課題研究委員長
3. 兵庫県音楽療法士認定審査会委員

#### 4. 滋賀県音楽療法研究所顧問 西宮音楽療法研究会顧問

##### 泉 貴子

1. 泉貴子ソプラノリサイタル 兵庫県立美術館エントランスホール 2008年2月9日 山田耕筰：この道、十六夜月、ヴェルディ：《椿姫》“あ、そはかの人か” 他 共演：泉博子（ピアノ）
2. 教員によるコンサート～山田耕筰作品集～ 南港ホール 2008年6月10日 山田耕筰：AIYANの歌 共演：稲垣聡（ピアノ）
3. 泉貴子ソプラノリサイタル ザ・フェニックスホール 2008年10月13日 トスティ：アマランタの4つの歌より、かわいい口元、ベッリーニ：《ノルマ》“清らかな女神”、ヴェルディ：《仮面舞踏会》“あの草を摘み取って” 他、共演：泉博子（ピアノ）
4. 教員によるコンサート 本町講堂 2008年10月23日 プッチーニ：《トスカ》“マリオ！マリオ！マリオ！” 共演：馬場清孝（テノール）、今岡淑子（ピアノ）

##### 戎 谷 六 雄

1. 「第21回 相愛オーケストラ コンチェルトの夕べ」大阪・いずみホール 2008年3月6日 S. ラフマニノフ作曲：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op. 18・ピアノ独奏：石川栄里子
2. 「相愛オーケストラ C・D 組演奏会」大阪・相愛学園本町講堂 2008年3月15日 J. ラター作曲：マニフィカト・R. ワーグナー作曲：「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
3. 「相愛ウインドオーケストラ ポップスコンサート」大阪・相愛大学南港ホール 2008年3月22日 チャイコフスキー作曲：白鳥の潮より「ナポリの踊り」トランペット独奏：ヨウコ ハルヤンネ・ほか
4. 「第30回 相愛ウインドオーケストラ定期演奏会」神戸・神戸文化ホール 2008年7月15日 R. ワーグナー作曲：ジークフリートの葬送行進曲・ほか
5. 「第25回 高知大学医学部管弦楽団定期演奏会」高知・かるぽーと大ホール 2008年9月14日 モーツァルト作曲：歌劇「ドンジョバンニ」序曲・シューベルト作曲：交響曲第7番「未完成」・ブラームス作曲：交響曲第1番ハ短調作品68
6. 「相愛学園創立120周年記念式典」大阪・相愛学園本町講堂 2008年10月

14日 大前哲作曲：相愛学園創立120周年記念委嘱作品 交響讃歌「親鸞」オーケストラと讃歌のための作品144：世界初演

7. 「第51回相愛オーケストラ定期演奏会」大阪・ザ・シンフォニーホール  
2008年10月31日 ビゼー作曲：アルルの女より・大前哲作曲：相愛学園創立120周年記念委嘱作品 交響讃歌「親鸞」オーケストラと讃歌のための作品144
8. 「女声合唱団プリモラ 演奏会」大阪・相愛学園本町講堂 2008年11月24日 林光編曲：日本叙情歌曲集より・御崎恵作曲：女声合唱組曲「日本の歌」よりほか
9. 「第36回 京都薬科大学管弦楽団定期演奏会」京都・京都府長岡京記念文化会館 2008年12月6日 グリーク作曲：組曲「ペールギュント」より・F. シューベルト作曲：交響曲第8番 ハ長調 D. 944

大 前 哲

#### 《作曲作品》

1. 交響讃歌〈親鸞〉オーケストラと讃歌のための—op. 144 相愛学園創立120周年記念委嘱作品 完成年月：2008年3月 学内初演：2008年10月「創立120周年記念式典」一般公開初演：2008年10月「相愛オーケストラ第51回定期演奏会」
2. 〈トゥーフォルド〉2本のユーフォニウムと2本のチューバのための—op. 145 「バリ・チューバ アンサンブル」委嘱作品 完成年月：2008年8月 初演：2008年11月
3. 〈メモリーズ・ワンス・モア〉2台のピアノのための=ダブルトーク No. 29 第2版—op. 146 「ルトスワフスキ賞2008」国際作曲コンペティション第2位受賞作品 完成年月：2008年10月 初演：2009年度予定
4. 〈タイム・スペクトルム〉弦楽四重奏のための—op. 147 完成年月：2008年11月 初演：未定

#### 《作品公開》

1. 「гент音楽院マスタークラス」にて〈コスモ・インヴェンティオ〉クラリネット・ソロ—op. 143を初演。於ベルギー王位立гент音楽院（ベルギー）2008年3月18日 主催：гент音楽院 演奏：岩井秀昭
2. 「相愛学園創立120周年記念式典」にて交響讃歌〈親鸞〉—op. 144を学内初演。於相愛講堂 2008年10月14日 主催：相愛学園 演奏：相愛オーケストラ、創立120周年記念女声合唱団、酒井陸雄（指揮）

3. 「相愛オーケストラ第 51 回定期演奏会」にて交響讃歌〈親鸞〉-op. 144 を一般公開初演。於ザ・シンフォニーホール 2008 年 10 月 31 日 主催：相愛学園 演奏：相愛オーケストラ、創立 120 周年記念女声合唱団、酒井睦雄（指揮）
4. 「バリ・チューバ アンサンブル」にて〈トゥーフォールド〉-op. 145 を初演。於相愛大学南港ホール 2008 年 11 月 18 日 主催：相愛大学ユーフォニアム・チューバ アンサンブル 演奏：バリ・チューバ アンサンブル
5. 「相愛大学ユーフォニアム・チューバ アンサンブル第 20 回定期演奏会」にて〈トゥーフォールド〉-op. 145 を発表。於守口市生涯学習センター 2008 年 12 月 13 日 主催：相愛大学ユーフォニアム・チューバ アンサンブル 演奏：バリ・チューバ アンサンブル

#### 《受賞》

1. 「ルトスワフスキ賞 2008」国際作曲コンペティション 第 2 位受賞。授与団体：ルトスワフスキ協会（ワルシャワ・ポーランド）2008 年 12 月 受賞作品：〈メモリーズ・ワンス・モア〉2 台のピアノのための=ダブルトータク No. 29 第 2 版-op. 146

小 栗 まち絵

#### 《演奏会》

1. 「いずみシンフォニエッタ大阪第 18 回定期演奏会」いずみホール 2008 年 3 月 15 日 バルトーク：弦楽のためのディヴェルティメント Sz 113、オネゲル：交響曲第 2 番他 指揮：飯森範親 主催：いずみシンフォニエッタ大阪
2. 「ヴィオラスペース 2008 大阪公演」ザ・フェニックスホール 2008 年 5 月 23 日 モーツァルト：三重奏曲 K 498 〈ケーゲルシュタット〉共演：店村眞積 (Va) 野平一郎 (Pf) 主催：テレビマンユニオン
3. 「いずみシンフォニエッタ大阪第 19 回定期演奏会 いずみホール 2008 年 7 月 3 日」「いずみシンフォニエッタ大阪第 2 回東京公演 紀尾井ホール 2008 年 7 月 4 日 アダムス：室内交響曲、西村朗：室内交響曲第 2 番〈コンチェルトンテ〉指揮：飯森範親 主催：いずみシンフォニエッタ大阪
4. 「イザイ生誕 150 周年記念ヴァイオリン作品の夕べ」いずみホール 2008 年 7 月 16 日 イザイ：マズルカ第 1 番、2 つの Vn と Pf のための詩曲〈友情〉共演：山本英二 (Pf)、田辺良子 (Vn) 主催：相愛大学
5. 「サイトウ・キネン・オーケストラコンサート」長野県松本文化会館 2008

年9月6・8・9日 モーツァルト：交響曲第32番 K318、武満徹：ヴィジョンズ、マーラー：交響曲第1番〈巨人〉指揮：小澤征爾 主催：サイトウ・キネン・フェスティバル

6. 「メシアン生誕100周年室内楽の夕べ」いずみホール 2008年12月9日  
メシアン：〈世の終わりのための四重奏曲〉共演：金井真之 (Cl)、斉藤建寛 (Vc)、児嶋一江 (Pf) 主催：相愛大学

#### 《学外活動》

1. 「第6回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」審議委員 2006年4月～2008年5月 主催：(財)日本室内楽振興財団
2. 日本演奏連盟・関西委員会委員 2007年4月～継続
3. 「第12回松方ホール音楽賞」審査員・選考委員 松方ホール 2008年8月8日、11日 主催：神戸新聞文化財団
4. 「第77回日本音楽コンクール」ヴァイオリン部門審査員 トッパンホール 2008年9月21～28日 東京オペラシティコンサートホール 2008年10月25日 主催：毎日新聞社 NHK
5. 「第62回全日本学生コンクール」全国大会ヴァイオリン部門審査員 横浜みなとみらいホール 2008年11月30日、12月1日 主催：毎日新聞社

#### 斎藤達男

1. デュオ・リサイタル (主催 ハオス・シュラダーン) 2008年9月5日 ドイツ：ハオス・シュラダーン A. ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ第6番、C. ドビュッシー：チェロとピアノのためのソナタ、A. ピアソラ：ル・グラン・タンゴ、R. シュトラウス：チェロとピアノのためのソナタ へ長調 op. 6〈共演〉細見理恵 (ピアノ)
2. デュオ・リサイタル (主催 ヴァールブルク ヴェルダ城) 2008年9月7日 ドイツ：ヴァールブルク ヴェルダ城 A. ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ第6番、C. ドビュッシー：チェロとピアノのためのソナタ、A. ピアソラ：ル・グラン・タンゴ、R. シュトラウス：チェロとピアノのためのソナタ へ長調 op. 6〈共演〉細見理恵 (ピアノ)
3. チェロ・グランド・コンサート (主催 桐朋学園音楽学部同窓会) 2008年10月3日 愛知県芸術劇場コンサートホール P. カザルス：サルターナ、J. S. バッハ：シャコンヌ、P. チャイコフスキー：弦楽セレナードより 他
4. チェロ・グランド・コンサート (主催 桐朋学園音楽学部同窓会) 2008年10月4日 オーバード・ホール (富山) P. カザルス：サルターナ、J. S.



- バッハ：シャコンヌ、P. チャイコフスキー：弦楽セレナードより 他
5. チェロ・グラランド・コンサート（主催 桐朋学園音楽学部同窓会）2008年10月5日 サントリーホール（東京）P. カザルス：サルターナ、J. S. バッハ：シャコンヌ、P. チャイコフスキー：弦楽セレナードより 他
  6. メシアン生誕100周年記念 室内楽の夕べ～水晶の響き～（相愛学園創立120周年記念コンサートシリーズ）2008年12月9日 いずみホール（大阪）O. メシアン：世の終わりのための四重奏曲（共演）小栗まち絵（ヴァイオリン）金井信之（クラリネット）児嶋一江（ピアノ）

《おもな学外活動》

1. 日本チェロ協会評議委員
2. 第8回ビバーホール・チェロ・コンクール 審査員

田 辺 良 子

1. いずみシンフォニエッタ第18回定期演奏会 2008年3月1日 いずみホール 土井智恵子「birdoid」他
2. いずみシンフォニエッタ第19回定期演奏会 2008年7月3日 いずみホール 西村朗 室内交響曲2番他
3. いずみシンフォニエッタ第2回東京公演 2008年7月4日 紀尾井ホール 西村朗 室内交響曲2番他
4. イザイ生誕150周年記念ヴァイオリン作品の夕べ 2008年7月16日 いずみホール 2つのヴァイオリンとピアノの為の詩曲他
5. 歴史と共にシリーズ 2008年8月12日 京都文化博物館 ベートーヴェン弦楽四重奏曲15番、16番
6. 田辺良子ヴァイオリンリサイタル 2008年9月8日 イシハラホール 上野 真、Pf. メシアン「主題と変奏」他
7. 司馬遼太郎記念館の音楽会 2008年10月19日 司馬遼太郎記念館ホール ブラームス ピアノ三重奏曲3番他
8. 歴史と共にシリーズ 2008年10月29日 京都文化博物館 ブラームス ソナタ3番、ピアノ四重奏曲1番

米 田 哲 二

1. 「オペラ“カルメン”」アルカイクホール 2008年10月4日 指揮：柳澤寿男、演出：前田正樹 兵庫県芸術文化センター管弦楽団 主催：関西二期会

若 林 正 史

1. 「相愛大学フルートオーケストラ定期演奏会」南港講堂 2008年12月2日  
広瀬量平：BLUE TRAIN、F. Kuhlau：GRAND QUATUOR op. 103、W. A. Mozart：SYMPHONY No 25 KV. 183、S. Montague：TIGIDA PIPA、C. Debussy：PETITE SUITE

## 【人文学部】

新 井 俊 一

《講演・学会発表》

1. 「歎異の心」、2008年2月23日、相愛大学市民仏教講座
2. 「なぜ浄土真宗か」、2008年4月19日、相愛大学市民仏教講座
3. 「人はなぜ親鸞聖人に惹かれるのか」、2008年5月21日、龍谷大学創立記念・親鸞聖人降誕会法要 深草学舎記念講演
4. 発表“Non-violence as the Universal Principle for Creating Peace” 2008年8月27日、国際真宗学会ヨーロッパ支部会（ドイツ・バートライヘンハル）
5. 発表「親鸞における無戒の論理」、2008年9月12日、日本仏教学会（叡山学院）
6. “Deep Prayer in Jodo Shinshu” 2008年11月21日 本願寺国際会館
7. 発表「非暴力思想の精神性と普遍性－仏教の立場から」、2008年11月23日、2008年度日本平和学会秋期研究集会（名古屋学院大学）

《主な学外活動》

1. 宗教倫理学会評議員（研究プロジェクト委員長）
2. 龍谷大学真宗学会評議員

小 野 真

1. *Frontiers of Japanese Philosophy 2—Neglected Themes & Hidden Variations*, 共著、2008（平成20）年7月、Nanzan Institut for Religion and Culture（南山大学宗教文化研究所）、edited by Victor Sogen Hori, 他14名、p. 201–210 担当論文名 *Nishitani Keiji’s Theory of Imagination : The Theory of Imagination in “Emptiness and Immediacy”*（西谷啓治の構想力論：「空と即」における構想力論を中心に）Translated by Robert Rose
2. 「浄土真宗の儀礼観と音楽」、単著、2008（平成20）年3月、京都市立芸術

大学伝統音楽研究センター編『日本伝統音楽研究』第5号、p. 47-65

《講演・学会発表等》

1. Können die buddhistischen Selbstopfer der Jataka-Erzählungen die Motivationsgrundlage für die Übertragung von Organen sein? (仏教のジャータカ説話は臓器移植の根拠となりうるか) ドイツ語・英語) 2008 (平成20)年9月4日、4th SOUTH-EAST EUROPEAN BIOETHICAL FORUM Opatija (Kroatia) (使用言語: ドイツ語と英語)
2. Der Symbolismus des Orfers als “Verehrung” im Urmodell des japanischen buddhiastischen Ritus (日本仏教儀礼の原型における「供養」としての供犠のシンボルについて) 2008 (平成20)年9月15日 Internationales Symposium Weingarten, Hermann und Marianne Straniak Stiftung, Weingarten (Germany) (使用言語: ドイツ語と英語)
3. 「神話的世界観と浄土」、2008 (平成20年)年12月9日、教学シンポジウム「浄土」: 浄土真宗本願寺派教学伝道研究センター主催

《演奏会等》主要なもののみ

1. 第42回雅楽公演会～秦姓の舞、フェスティバルホール、2008年11月10日、天王寺楽所雅亮会・朝日新聞社主催、第63回文化庁芸術祭参加公演、舞楽「還城楽」舞人を担当

嘉 戸 一 将

1. 「近代日本の息吹としての明治憲法」単著、2008年3月、『相愛大学人文科学研究年報』第2号、相愛大学人文科学研究所編、pp. 32-48。
2. 『明治国家の精神史的研究—〈明治の精神〉をめぐって—』共著、2008年10月、以文社、鈴木徳男他1名編、pp. 58-124。
3. 書評「西村稔著『福澤諭吉—国家理性と文明の道徳』名古屋大学出版会」、2008年3月、『人環フォーラム』第22号、『人環フォーラム』編集委員会編、p. 60。
4. 「明治憲法と《定礎》のための《準拠》」、2008年7月25日、特別セミナー「ルジャンドルをどう生かすか?」(科研費助成研究(基盤研究(B))「戦争・経済・メディアからみるグローバル世界秩序の総合的研究」)、於東京外国語大学。
5. 「明治憲法体制における道徳と理性」、2008年12月13日、相愛学園創立120周年記念公開講座、於相愛大学。

北 崎 契 縁

1. 編訳者 吉村宏一・北崎契縁、『D. H. ロレンス書簡集 V 1914』（朝日出版社、2008年3月31日）※全巻にわたる体裁の統一と表記の整理および「解題」を担当。

木下（森光）有子

1. 「日本に溢れるカタカナ語とその影響—大学生のカタカナ語の認識と英語学習—」『相愛大学研究論集』第24巻 pp. 67-97（共著）2008年3月

呉 谷 充 利

1. 「奈良高畑の遺産」相愛大学研究論集第24巻 2008年3月 pp. 109-138
2. 『白樺サロン』創刊（共著）平成20年3月 p. 58 呉谷充利（編）杉本秀太郎、梁瀬健、呉谷充利、平瀬礼太、中村一雄、浅野詠子著

《発表》

1. 「起源と文明」現代社会学科懇話会 2008年7月9日 於：合同研究室  
《研究活動》

1. 「ル・コルビュジェの身体に関する研究」日本建築学会  
《社会活動》

1. 『志賀直哉旧居（奈良）』復元監修 平成20年8月1日～
2. 「志賀直哉旧居保存運動30周年メモリアル」開催 於：奈良女子大学記念館講堂 平成20年10月4日
3. 「志賀直哉旧居寸評（解説）」平成20年12月9日（NHK 総合「おはよう日本」）

桑 原 義 登

1. 「最近の社会情勢から考える子どもの問題—子どもをどう理解し、どう関わるか—」単著 2008年3月 相愛大学人文科学研究所 研究年報第2号 pp. 49-59
2. 「公務員採用における「臨床心理士」をめぐる」単著 2008年1月 日本臨床心理士会雑誌 第16巻3号 PP. 74
3. 都道府県士会だより「和歌山県臨床心理士会から」単著 2008年1月 日本臨床心理士会雑誌 第17巻2号 PP. 50-51

《講演・学会発表等》

1. 「社会福祉施設等の領域」自由研究発表司会・助言者 日本地域福祉学会第

22 回全国大会 2008 年 6 月 同志社大学

2. 「DV・虐待への支援」2008 年 8 月 いのちの電話相談員養成研修 和歌山市
3. 「思春期の里子への対応」近畿地区里親会研修会 2008 年 8 月 和歌山市
4. 「母子生活支援施設における臨床心理的な支援について」2008 年 9 月 大阪府社会福祉協議会 大阪市
5. 「最近の社会情勢から考える人権問題」2008 年 10 月 紀の川市職員人権研修 紀の川市
6. 「児童の発達理論」2008 年 11 月 平成 20 年度児童厚生員等資格認定研修会 和歌山市

《主な学外活動》

1. 日本臨床心理士会代議員・和歌山県臨床心理士会会長
2. 日本地域福祉学会地区委員
3. 和歌山県社会福祉施設第三者評価事業推進組織委員長
4. 和歌山県人権施策推進審議会委員
5. 和歌山県社会福祉協議会理事
6. 和歌山県社会福祉協議会活動計画策定委員会委員長
7. 和歌山市要保護児童対策地域協議会代表者会議委員
8. 社会福祉法人和歌山県社会施設事業会理事
9. 御坊市次世代育成支援行動計画策定委員会委員長等
10. 和歌山県発達障害者支援センター発達相談員
11. 和歌山県こころのレスキュー隊（指揮担当）
12. 社団法人和歌山いのちの電話協会理事
13. NPO 法人紀の国被害者支援センター理事
14. NPO 法人和歌山子どもの虐待防止協会副会長

紅 椽 英 顕

1. 「親鸞浄土教における救済の理念と事実」〈単〉（平成 20 年 3 月）、印度学仏教学研究 56 の 2, pp. 22-29.
2. 「The Special Features of Shinran's Pure Land Buddhism in Japanese Buddhism（日本仏教における親鸞浄土教の特色）」〈単〉（平成 20 年 5 月）、The Journal of Korean Association for Buddhist Studies,（韓国仏教学結集大会論集）pp. 456-457.
3. 「親鸞における信心の智慧について」〈単〉（平成 20 年 6 月）、日本仏教学会

年報 73, pp 1-.

《学会発表》

1. Establishing Shinjin: The premise of peace and tranquility (信心決定ということ―世のなか安穏なれの前提―)、(平成 20 年 8 月)、Fifteenth European Shin conference in the town of Bad Reichenhall, Germany (ドイツのバートライヘンハルにおける第十五回ヨーロッパ真宗会議)。

《学外活動》

1. 日本仏教学会理事
2. 扇城学園教職員宗教教育研修会講師 (平成 20 年 8 月)
3. 浄土真宗僧侶の学習会の講師

佐々木 豊

1. 「外交問題評議会「戦争と平和の研究」における対日戦後処理構想―アメリカ知識人・外交問題専門家の抱いた安全保障観を中心に―」杉田米行 (編) 『アメリカ外交の分析―歴史的展開と現状分析』(大学教育出版、2008 年)、pp. 117-167.

《主な活動》

関西日米交流フォーラム (例会の企画と運営)

鈴木 徳 男

1. 冷泉家時雨亭叢書第七十九巻『俊頼髓脳』共著 2008 年 2 月 朝日新聞社
2. 冷泉家時雨亭叢書第六十四巻『平安私家集 十二』共著 2008 年 4 月 朝日新聞社
3. 『明治国家の精神史的研究〈明治の精神〉をめぐって』2008 年 10 月 以文社 嘉戸一将と共編「揺らぐ近代―序にかえて―」『近代歌学の出発―竹柏園と博文館』掲載
4. 冷泉家時雨亭叢書第八十三巻『大鏡 文選 源氏和歌集 拾遺 (一)』共著 2008 年 12 月 朝日新聞社
5. 「『俊頼髓脳』定家本の重要文化財指定に寄せて」2008 年 7 月 20 日『志くられてい』第 105 号
6. 「住吉大社蔵『俊頼髓脳抜書』について」2008 年 12 月 大取一馬編『中世の文学と思想』龍谷大学仏教文化研究所
7. 「漢故事和歌二題―二つのダイアログ dialogue―」2008 年 9 月 9 日 東北大学外国語学院中日文化比較研究所主催 中日文化比較研究国際シンポジ

ウム「融合、共生、インタラクション」中国・瀋陽

8. 「歌集の世界－『定家八代抄』を読む－」2008年11月22日 相愛学園創立120周年記念公開講座
9. 「すきこそものの上手なれ」2008年4月1日「相愛大学図書館報」第55号
10. 新編私家集大成 CD-ROM版 2008年12月『私家集大成』CD化委員会編 エムワイ企画

《おもな活動》

1. 和歌文学会委員 編集委員
2. 俊頼髓脳研究会事務局

砂 川 博

1. 『一遍聖絵』第四の詞と絵（上・下）単著 2008年4月、10月 岩田書院  
『時衆文化』第17号、pp. 1-41。『時衆文化』第18号、pp. 17-62

《学会発表・講演》

1. 「小野寺遊行について」2008年1月13日 第8回時衆文化研究会 藤沢市遊行寺
2. 「平清盛と福原遷都」2008年7月2日 篠山市市民文化講座 篠山市中央公民館
3. 「中世語り物文芸と女性－女性の果たした役割について－」（京都橋大学 女性歴史文化研究所第17回シンポジウム「語り物文芸と女性－日本中世～近世にかけて－」のパネリストとして講演）2008年7月12日 京都橋大学女性歴史文化研究所 キャンパスプラザ京都
4. 「神戸の『平家物語』『太平記』遺跡を歩く」（臨地研修）8月8日 篠山市市民文化講座 神戸市湊川神社、真光寺、須磨寺等
5. 「中世祖師伝絵巻の世界－『一遍聖絵』の詞と絵を読む－」11月2日 相愛学園創立120周年記念公開講座 相愛大学人文学部・人文科学研究所

《学外研究活動》

\* 『時衆文化』編集長

孫 久 富

1. 研究発表「月のロマンス－伝説・和歌・漢詩を中心に－」2008年9月9日 東北大学外国語学院中日文化比較研究所主催 中日文化比較研究国際シンポジウム「融合、共生、インタラクション」中国・瀋陽
2. 「万葉集の美しさ－中国古代詩と比較して－」2008年11月8日 相愛学園

《学外活動》

1. 中国東北大学の要請で当大学外国語学院大学院集中講義『日中比較文化・文学』を担当 2008 年 3 月
2. 東北大学中日文化比較研究所日本側所長に就任 2008 年 8 月

Teresa Bruner Cox

1. April 26, 2008, Japan Association of Language Teachers, Kobe Chapter, Kobe “Preparing for a University Year Abroad : Insights of Japanese Returnees”
2. May 10, 2008 Kwansei Gakuin Daigaku International Students Center, Nishinomiya Workshop : “Preparing Yourself for a Year Abroad : Academic Challenges and Insights of Returnees”
3. Nov. 2, 2008 JALT 2008 Annual Conference, Yoyogi Memorial Youth Center (Tokyo) “The Academic Challenge of a Year Abroad” \*Current research theme : Chinese culture and cultural values (compared with Japan and USA)

戸口愛泰

1. 戸口愛泰・高木修 (2008. 3) 第 4 章 親子関係における絆の研究, 一絆認知と親子関係満足および自尊心との関連性-, 関西大学経済・政治研究所「調査と資料」第 105 号 現代社会に置ける人間関係の諸相, 57-71.
2. 高木修・戸口愛泰 (2008. 3) 子どもが抱く親子間の「絆」意識が親子関係満足度に及ぼす影響: 子どもと親の性別と「絆」の心理的効用に着目して平成 18~平成 19 年 科学研究費補助金 基礎研究 (C) 研究成果報告書, 55-74.
3. 戸口愛泰・高木修 (2008. 5) 子どもとの関係性における親からの絆認知, 日本グループ・ダイナミクス学会第 55 回大会発表論文集, 166-167.
4. 戸口愛泰・高木修 (2008. 10) 中学生における両親との絆認知と家族満足度との関連性, 日本教育心理学会第 50 回大会発表論文集, 658.
5. 戸口愛泰・高木修 (2008. 11) 子どもとの「絆」が関係満足度と精神的健康に与える影響, 日本社会心理学会第 48 回大会発表論文集, 168-169.



鳥井正晴

1. 「監修」「編集」という、降り口のない汽車に乗って 間違いをなくすことの難しさ」『会報 漱石文学研究』第5号 漱石詩を読む会 2008年4月20日 pp. 21-22
2. 「紹介 鳥井正晴監修・近代部会編『『明暗』論集 清子のいる風景』」『阪神近代学研究』第9号 阪神近代文学会 2008年6月30日 pp. 79-81
3. 「『明治の精神』その典拠と、漱石の認識」鈴木徳男 嘉戸一将 編「明治国家の精神的的研究〈明治の精神〉をめぐって」所収 以文社 2008年10月1日 pp. 4-55

西迫成一郎

1. 「社会的規範からの逸脱行動の様相と類型－社会的規範の普遍性と可変性に関する研究(1)－」(共著)『関西大学総合情報学部紀要 情報研究』第29号 pp. 55-68 2008年7月
2. 学会発表「社会的不正事態の類型化およびそれに対する感情反応－社会的公正感の喚起過程およびその影響過程(6)－」(共同発表)日本心理学会第72回大会発表論文集 p. 278 2008年9月

橋元淳一郎

1. 「時間の矢から謎をとく」/週刊読書人(2008年1月11日号)
2. 「物理的時間と心理的時間のはざま」/2008年7月27日/日本ブリーフサイコセラピー学会「心理療法における時間をめぐって」シンポジスト(岡山大学)

初塚真喜子

《論文等》

1. 「自閉症スペクトラムを対象とした音楽療法について－AQを指標としたアナログ研究－」2008年3月15日 相愛大学研究論集 第24巻 pp. 99-108

《講演・学会発表等》

1. 「子どもの発達の基本たどりなおし－幼児期後半の発達の節－」2008年2月25日 場所・主催：和歌山県子ども・障害者相談センター
2. 「こども虐待と愛着理論－臨床的アプローチに向けて－」2008年10月11日 場所：和歌山県子ども障害者相談センター 主催：和歌山県臨床心理士

会

《おもな学外活動》

1. 和歌山県臨床心理士会理事（子育て支援担当理事）
2. 平成 20 年度科学研究費補助金（基礎研究 B）課題番号 19330210（研究代表者 東條吉邦）研究課題：自閉症児に理解しやすい音声指示のあり方の解明。研究協力者として音楽療法的アプローチの利用可能性に関する専門的助言等を分担

藤 谷 忠 昭

1. 「高齢者施設の社会的接点－入居者の権利を擁護するための仕組み」単著 2008 年 3 月 相愛大学人文科学研究所『研究年報』2 号 pp. 25-31.
2. 「長野県木曾郡大桑村－ダムと発電所からの脱却への構図」単著 2008 年 4 月 地方自治研究会『「変動期社会における離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究」研究成果報告書・第二輯』pp. 34-41.
3. 「沖縄県八重山郡与那国町－国境という『資源』を切り札に」単著 2008 年 4 月 地方自治研究会『「変動期社会における離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究」研究成果報告書・第二輯』pp. 216-25.
4. 「介護保険制度見直しについての特別養護老人ホーム施設長アンケート調査結果報告」共著 2008 年 12 月 特定非営利活動法人・介護市民オンブズマン機構大阪.

《講演・発表等》

1. 「超高齢社会の中で－オンブズマン活動で見えてきたもの」2008 年 4 月 12 日 特定非営利法人・介護保険市民オンブズマン機構大阪・第 9 期・市民オンブズマン養成講座.
2. 「行政主導のまちづくりの条件－大阪市住之江区を事例に」2008 年 5 月 10 日 第 33 回「地域社会学会」大会，於・東京学芸大学.
3. 「メディアとしての市民活動－高齢者施設入居者の意思をめぐって」2008 年 6 月 22 日 第 59 回「関東社会学会」大会，於・首都大学東京.

《主な学外活動》

1. 介護保険市民オンブズマン 特定非営利法人・介護保険市民オンブズマン機構大阪，2005 年 11 月～.
2. 「変動期社会における離島および山村地域の政策課題に関する実証的研究」研究分担者 科学研究費補助金（基盤研究（B）），平成 18 年度～平成 20 年度.

3. 総合計画策定の基礎資料を目的とする住民によるアンケート作成のためのワークショップ・ファシリテーター 兵庫県丹波市, 2008年6月～.

益 田 圭

1. 『人権年鑑2008』〈共著〉2008年3月 解放出版社(社) 部落解放・人権研究所編 part 2 2006年の動向 2 部落問題 第1章「意識調査」pp. 82-92.
2. 部落解放・人権研究報告書 No. 10『部落問題に関する意識の変遷と啓発の課題』〈共著〉2008年3月 部落解放・人権研究所 第4章「北九州人権意識調査から見る市民意識の変化と啓発課題」pp. 71-82.

山 本 幸 男

〈論文〉

1. 「慈訓と内裏—「花巖講師」の役割をめぐって」『仏教史研究』2008年3月 pp. 1-29

〈講演〉

1. 「藤原豊成と難波別業」2008年6月21日(近鉄文化サロン阿倍野) 大阪市立大学・近鉄文化サロン共催講座「大阪の古代史を探る」
2. 「正倉院文書研究の方法と課題」2008年9月9日 東北大学外国語学院中日文化比較研究所主催 中日文化比較研究国際シンポジウム「融合、共生、インタラクション」中国・瀋陽
3. 「奈良時代の天皇と仏教」2008年11月29日 相愛学園創立120周年記念公開講座 相愛大学人文学部・人文科学研究所

## 【人間発達学部】

岩 口 摂 子

1. 「幼児における音楽と感情との関連(2)—AVSMによって抽出された因子を特徴づける音楽・絵・言葉のマッチングについて—」宮城学院女子大学発達科学研究第8号 pp. 1-11, 宮城学院女子大学附属発達科学研究所(単著) 2008年3月
2. 「保育者養成における音楽教育の基礎研究2—簡易読譜力調査を通して—」相愛大学研究論集第24巻 pp. 191-213(単著) 2008年3月
3. 定着化した保育歌唱教材における歌詞の特徴について 教育実践学研究第

10 卷第 1 号 pp. 21-30 (単著) 2008 年 10 月

4. 学会発表「保育者養成におけるピアノ実技の授業評価の一分析—授業満足度と演奏得点に影響を及ぼす要因について—」日本教育実践学会第 11 回研究大会 (共同) 2008 年 11 月

岩 堂 美智子

1. 『「しっかりした子」に育てる本 子どもに見せたい親の生き方・親の品格』  
2008 年 1 月 PHP 研究所 塩見邦雄・岩堂美智子著
2. 『臨床心理士の子育て支援 その理論と実践事例』2008 年 12 月 創元社  
岩堂美智子監修・松島恭子編

《学会発表》

1. 「市民との協働でつくるつながりあう地域社会～大阪市立子育ていろいろ相談センターの取組みから考える～」2008 年 5 月 日本保育学会第 61 回大会発表論文集 松尾純代・岩堂美智子

太 田 美 穂

1. 「Isolation of *Rhizopus sp.* Strains from Ragi tempe」共著 甲子園大学紀要 (Bulletin of Koshien Univ.) 35 (2007) 西瀬、太田他 1 名 2008 年 3 月

《学会発表》

1. 「前立腺細胞 PZ-HPV-7 におけるビタミン D3 誘導体の代謝および増殖抑制作用メカニズムの解明」2008 年 3 月 日本農芸化学会 2008 年度大会
2. 「ヒト前立腺由来 PZ-HPV-7 細胞におけるビタミン D3 誘導体の増殖抑制作用および代謝」2008 年 6 月 日本ビタミン学会第 60 回大会 ビタミン 82. 4. (2008) p 275
3. 「栄養特性を生かしたテンペの利用 第 1 報 高齢者を対象とした場合」2008 年 9 月 第 55 回栄養改善学会学術総会
4. 「ヒト前立腺由来培養細胞置ける天然型ビタミン D3 およびビタミン D3 誘導体の細胞 増殖抑制作用および代謝」2008 年 12 月 第 81 回日本生化学大会

《主な講演》

1. 「テンペセミナー 1. 各種テンペ菌の性質 テンペの機能性とその活用にむけて」平成 20 年 5 月 岡山県中小企業団体中央会 (地域資源活用企業化コーディネート活動等支援事業)

2. 「テンペセミナー 2. カラフルテンペ団子の試食とアンケートの実施」平成 20 年 8 月 岡山県中小企業団体中央会（地域資源活用企業化コーディネート活動等支援事業）

《主な学外活動》

1. 日本生化学会 評議員
2. 日本栄養改善学会 評議員
3. 日本テンペ研究会 常任役員
4. 日本調理科学会 近畿支部委員

川 中 美津子

1. 「ファッション消費者行動における快楽的要因の位置づけ：かわいい論的考察」共著 2008 年 9 月 1 日 和歌山大学・宝塚造形芸術大学合同研究発表会概要集（宝塚造形芸術大学梅田キャンパス）菅原正博他 1 名 P. 90～93
2. 「ラグジュアリーファッションブランディング経験価値に関する一考察」共著 2008 年 9 月 1 日 和歌山大学・宝塚造形芸術大学合同研究発表会概要集（宝塚造形芸術大学梅田キャンパス）菅原正博他 1 名 P. 14～19
3. 「感性人類学を基盤とした「参与観察」手法」共著 2008 年 9 月 1 日 和歌山大学・宝塚造形芸術大学合同研究発表会概要集（宝塚造形芸術大学梅田キャンパス）宮武恵子・菅原正博他 1 名 P. 84～89
4. 「ラグジュアリーファッションブランディング経験価値に関する一考察－ヒューマン・カルチュラル・テクノロジーアプローチ－」共著 2008 年 9 月 8 日 日本感性工学会第 10 回日本感性工学会大会（8～10 日）予稿集（大妻女子大学）菅原正博他 1 名 予稿集 NO. 12 G-09（CD-R）
5. ファッション消費者行動における快楽的要因の位置づけ：かわいい論的考察」単著 2008 年 10 月 26 日 日本衣服学会創立 60 周年記念大会（25～26 日）要旨集（京都テルサ）p. 34～35

塩 見 邦 雄

1. 塩見邦雄編「対話で学ぶ心理学」（第 2 版）ナカニシヤ出版 2008 年
2. 塩見邦雄編「教育実践心理学」ナカニシヤ出版 2008 年 4 月 10 日
3. 黄喜珊・塩見邦雄・劄鳴「日本の学校心理士制度乃其运昨－塩見邦雄教授訪談录」华南师范大学学报（社会科学）、（中国）2008 年 第 2 号（2008 年 4 月 26 日），126-129 頁。
4. 特木熱・塩見邦雄「小・中学生の学校ストレスについて－日本と内モンゴル

(中国)の比較研究—」応用教育心理学研究, 第23巻 第1号, 25-33, 2008年

5. 喜珊・劉鳴・塩見邦雄「中国における特殊教育の現状」応用教育心理学研究, 第23巻 第1号, 35-42, 2008年

《学会発表》

1. 川島範章・塩見邦雄「子どもの発達に関する親の認知についての研究—10歳の壁と呼ばれる発達段階を親はどう見ているのか—」日本発達心理学会第19回大会 2008年3月20日
2. 川島範章・塩見邦雄「こころの授業の実践についての研究」日本教育心理学会第49回総会 2008年10月11日
3. 川島範章・塩見邦雄「こころの授業の実践についての研究」日本学校心理士会第3回全国大会 2008年8月10日
4. 川島範章・塩見邦雄「小学生を対象としたこころの授業の実践」日本教育実践学会第11回研究大会 2008年11月2日
5. 川島範章・塩見邦雄「高校における特別支援教育コーディネーターの実務について」日本応用教育心理学会第23回大会 2008年11月29日
6. 特木熱・小野瀬雅人・塩見邦雄「内モンゴル(中国)学生の授業ストレスについて」日本応用教育心理学会第23回大会 2008年11月29日

《学会活動》

日本応用教育心理学会理事長、日本教育実践学会会長、学会連合資格「学校心理士」認定運営機構理事長、兵庫県学校心理士会会長、日本教育心理学会常任理事、学会連合資格「臨床発達心理士」認定運営機構常任理事、特別支援教育士認定協会評議員

《教育実践》(授業実践)

京都市立音羽川小学校で「こころの授業」の教育実践(授業)

《新聞掲載記事》

「まとまることの大切さ~「モンゴル秘史」を基にこころの授業」日本海新聞、大阪日日新聞 2008年11月22日

《学会開催》

日本教育実践学会第11回大会を相愛大学で開催。2008年11月2日・3日

高岡昌子

1. 『教育実践心理学』共著 2008年4月 ナカニシヤ出版 塩見邦雄編 pp. 21~42 (第2章 発達)

《おもな学外活動》

1. 2008年－2011年 科学研究費（基盤 B 20330149）の連携研究者として『運動視に関する大脳視覚野の機能と構造の研究』を継続している。

田 中 陽 子

1. 「高等学校『家庭に関する学科』における生活デザイン科の科目構成とその特徴」共著 2008年1月 日本家庭科教育学会誌第50巻第4号 古御堂敦子 pp. 281-291
2. 「第11章 教育実践」教育実践心理学 共著 2008年4月 ナカニシヤ出版 塩見邦雄編 pp. 195-209

多 門 隆 子

1. 「公衆栄養マニュアル」共著 2008年2月（南山堂）pp. 165-172

《学会発表》

1. 「大阪府における栄養成分表示による食環境への行政的介入効果について」共 2008年11月 第67回日本公衆衛生学会
2. 外食産業と連携した肥満予防対策「野菜バリバリ！ヘルシー居酒屋支援事業」共 2008年11月 第67回日本公衆衛生学会

（他、学会発表 共同 8件）

《講演》

1. 相愛学園創立120周年記念公開講座「おおさかの食と健康」2008年11月
2. 帝塚山学院大学特別講義「おおさかの食と健康」2008年12月

《主な学外活動》

1. 大阪府卸売市場審議会委員 2008年3月
2. 豊中市食育推進協議会委員 2008年7月
3. 大東市食育推進計画作成委員会委員 2008年6月 10月
4. 大阪府食育フェスタ実行委員会委員 2008年7月

中 西 利 恵

《学会発表・講演》

1. 「『子育て支援』の実践力を高める保育者養成方法の研究（2）－学生の交流記録の分析から－」2008年5月18日 名古屋市立大学 日本保育学会第61回大会発表論文集 530頁
2. 「これからの子育て論－今どきの子育て事情&これからの考える－」うれし

の学園生涯大学4年制講座 2008年7月8日 主催：兵庫県立嬉野台生涯教育センター

3. 「なぜ、今、子育て支援が必要な？私たちが地域でできることは何？」子育てサポーター養成講座 2008年10月16日 主催：伊丹中央公民館

#### 《おもな学外活動》

1. 社団法人全国保育士養成協議会 専門委員 社団法人全国保育士養成協議会 委嘱期間：2008年5月24日～2年間
2. 「大阪市就学前児童健全育成プログラム策定に向けたフィールドワーク」指導講師 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪 委嘱期間：2008年9月1日～2009年3月31日

#### 中 村 富 子

1. 演習レポート「身体活動量と前立腺がん発症のリスクの関係」*Research Exercise Epidemiology* 10 p 47-50 2008年3月
2. 学会発表「家族性腫瘍サポートグループにおける医療者の役割」日本家族性腫瘍学会 第14回大会 2008年6月
3. 学会発表「在宅療養者の訪問栄養食事指導の実態とその課題（第2報）」日本公衆衛生学会 第67回大会 2008年11月
4. 講演「相愛大学におけるダイエット教室のとり組み」相愛大学公開講座 2008年2月
5. きのみ介護教室（運動と食事の講義と実技）きのみデイサービスセンター 2008年2月
6. 講演「ダイエットの常識ウソ・ホント？」相愛大学公開講座 2008年10月
7. 健康教育（食育ペーパーサート）住之江区独居老人 2008年11月
8. 講演「おいしく食べて元気になろう」大阪府健康づくり大学校講座 2008年11月
9. 患者会支援「家族性大腸腺腫症患者会」

#### 《主な学外活動》

1. 大腸腫瘍発生と運動及び食事との関連  
厚生労働省 第3次がん総合戦略研究事業「がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究」において運動と食事調査担当
2. 在宅療養者の栄養管理  
NPO 法人栄養ケアプランニング NEST 理事



2008年度大阪ガスグループ福祉財団研究助成研究「在宅訪問栄養食事指導におけるニーズの実態とその関連因子の検討」

並 河 信太郎

《講演》

1. 「食に関する指導の進め方」2008年2月 大阪市栄養教職員研究会 平成19年度大阪市栄養教職員研究会研究発表会
2. 「食育のコーディネーターとしての役割」2008年6月 奈良県立教育研究所 新規採用栄養教諭研修講座
3. 「食中毒を考える」2008年6月 相愛大学 子育て支援講座
4. 「給食の時間における食に関する指導」2008年8月 大阪府教育委員会 大阪府・大阪市栄養教諭免許法認定講習
5. 「子どもの食の現状と課題～朝食を中心に～」2008年12月 此花区学校保健協議会 此花区学校保健協議会総会
6. 「食といのち」2008年12月 みのお市民人権フォーラム 23rd 実行委員会 みのお市民人権フォーラム 23rd
7. 「スポーツと栄養」2008年12月 今市中学校 体育（保健領域）授業

《学外活動》

1. 第18回全国産業教育フェア全国高校生クッキングコンテスト審査員 2008年8月 第18回全国産業教育フェア大阪大会実行委員会
2. (仮称) 豊中市新学校給食センター専門家委員会委員 2008年10月～2009年3月 豊中市教育委員会

長谷川 精一

1. 「「沖縄言語論争」再考」単著 2008年3月「教育史フォーラム京都」、(発表雑誌)『教育史フォーラム』pp. 3-20
2. 「明治国家の精神的的研究—く明治の精神くをめぐって—」「福沢諭吉における兵役の「平等」—徴兵論と兵役のがれの間」共著 2008年10月 以文社 鈴木徳男、嘉戸一将編 pp. 125-160

《学会発表》

1. 「《三角測量》による比較教育史—沖縄・ヨルダン・ブルターニュ」(沖縄報告) 2008年9月 教育史学会、於青山学院大学

《学外活動》

1. 科研(共同研究):(研究課題名)「地域文化の変容からみた近代教育シス

テムの形成に関する比較的研究」(研究代表者) 越水雄二(同志社大学社会学部准教授) 2007年度~2009年度

原 佳央理

1. 「虐待の防止」単 2008年3月 ミネルヴァ書房、『保育士養成テキスト③ 児童福祉』山野則子・金子恵美(編著) pp. 135-149

《学会発表》

1. 「子ども虐待ケース・マネジメント実践モデルの開発的研究：修正デザイン・アンド・ディベロップメント(M-D & D)を用いて」2008年8月22日 日本社会福祉実践理論学会第25回大会・関西学院大学

前 田 昭 子

《学会発表》

1. 「A Study on Dietary Education for University Students－Consciousness Behavior of Dietary Life, Sense of Taste, and life－」2008年9月 第15回国際栄養士会議 横浜

《主な学外活動》

1. 日本食育学会 評議員
2. 日本調理科学会 近畿支部委員

水 野 淨 子

1. 「Mycobacterium intracellulare 由来血清型7, 12型 glycopeptidolipid 糖鎖合成遺伝子の機能解析」共著 平成20年3月 日本細菌学会誌 63(1) 水野淨子他6名 P. 9
2. 「Structure and biosynthesis of a novel serotype 13 glycopeptidolipid derived from Mycobacterium intracellulare」共著 平成20年12月 BMB 2008 水野淨子他7名 P. 339

《主な学外活動》

1. 日本栄養改善学会 評議員
2. 日本栄養改善学会 近畿支部役員
3. 日本調理科学会 近畿支部委員
4. 大阪市立大学大学院医学研究科細菌学分野客員教授

宮原 公子

1. 「Effect of sports activity on bone mineral density in wheelchair athletes」共著 平成20年1月 Journal of Bone and Mineral Metabolism VOL. 26 No 1 (BMM) p 101~106
2. 「小中学生の生活習慣が朝食摂取状況に及ぼす影響」共著 平成20年10月 日本予防医学会誌 Journal of Preventive Medicine V 0 L. 3 NO. 2 p 25~29

《学会発表》

1. 「大学生の朝食摂取に関する一考察」共 平成20年2月 第26回日本幼児健康教育学会
2. 「栄養教諭カリキュラムにおける教育の実態と学生の意識調査」共 平成20年9月 第55回日本栄養改善学会
3. 「A Study of Dietary Management Utilizing School Lunches as Educational Material」共 平成20年9月 15th International Congress of Dietetics
4. 「Effect of sports activity on bone mineral density in wheelchair athletes」共 平成20年12月 2008 IOF World Congress on Osteoporosis

《講演》

1. 笠岡市消費者大学「食育をブームに終わらせないためにー伝統的な食文化の見直しをー」平成20年3月
2. 岡山県栄養士会真庭支部研修会「栄養の専門家に今、期待されていることー先輩からのメッセージー」平成20年8月
3. 真庭市教育委員会管内学校給食従事者研修会「期待される学校給食 果たせることー子ども 献立 健康をキーワードにー」平成20年8月

村井 陽子

1. 「高学年児童の食生活と学習態度・意欲や健康状態との関連」共著 2008年1月 日本食育学会誌 第2巻、第1号 他2名著 pp. 3-9
2. 「高学年児童の学校給食への関心と学習態度・意欲や健康状態との関連ー学校給食を通じた食育の重要性ー」共著 2008年4月 日本食育学会誌 第2巻、第2号 他2名著 pp. 43-49
3. 「豆を使った「食に関する指導」の展開に向けて」単著 2008年6月 日本豆類基金協会、豆で食育！実践ガイド（社）農村漁村文化協会編集 pp. 6-13

4. 「家庭における豆利用の背景因子」2008年9月 第55回日本栄養改善学会  
学術総会・鎌倉市
5. 「小学校の豆摂取を促す指導の教育効果」単著 2008年10月 大阪教育大  
学家政学研究会、生活文化研究、第47巻 pp. 50
6. 「小学校における豆の調理実習及び授業実践の教育効果に関する研究」単著  
2008年12月 日本豆類基金協会、豆類時報(53巻)(社)日本特産農産  
物協会編集 pp. 17-23

山本和明

1. 「仮名垣魯文『松飾徳若譚』ノート」単 2008年3月 相愛大学研究論集24  
巻 pp. 19-38
2. 『原典資料の調査を基礎とした仮名垣魯文の著述活動に関する総合的研究』  
解題編・論考編・資料編1・2 共編 2008年3月 国文学研究資料館 谷  
川恵一(代表)ほか 科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書
3. 「結末の行方ー黎明期明治戯作の位相」単 2008年10月『明治国家の精神  
史的研究』以文社刊 鈴木徳男・嘉戸一将編 pp. 161-205
4. 「円朝速記本流転」単 2008年12月 岩波書店・新日本古典文学大系明治  
編第7巻月報「明治出版雑識」pp. 9-13
5. (解題)『松飾徳若譚』『松の栄千代田の神徳』単 2008年3月 国文学研  
究資料館、リプリント日本近代文学131・132 各2頁
6. (書評)「磯部彰編『東アジアの出版と地域文化ーむかしの本のものごたり  
ー』」単 2008年12月 日本文学57-12 pp. 74-75

《発表等》

1. 「魯文『成田山御利生記』諸本考」2008年1月13日 仮名垣魯文研究会第  
8回研究大会・国文学研究資料館
2. 「明治三年魯文存疑本考」2008年7月20日 仮名垣魯文研究会第9回研究  
大会・国文学研究資料館
3. 「書冊の大きさ二題一本の「格」ということ」2008年8月30日 19世紀文  
学研究会・岩波書店
4. (講演)「十九世紀の〈旅路〉」2008年12月6日 相愛学園120周年記念公  
開講座「宗教・文学・歴史」・南港学舎
5. (社会貢献)就業体験事業講演会講師 2008年2月20日 兵庫県立篠山鳳  
鳴高等学校

### 《主な活動》

1. 国文学研究資料館共同研究「開化期戯作の社会史的研究」共同研究員 2004-
2. 国文学研究資料館基幹研究「十九世紀の出版と流通」共同研究員 2006-
3. 国文学研究資料館公募型共同研究「近世風俗文化の形成－忍頂寺務草稿および旧蔵書とその周辺－」飯倉洋一阪大教授（代表）、研究分担者、2008-
4. 日本文学協会委員 2005年度-
5. 日本近世文学会「近世文藝」編集委員 2007-
6. 国文学研究資料館調査収集委員会委員 2008年4月-
7. 国文学文献資料調査員（国文学研究資料館、特別調査員含）1997-